

## 各公立大学法人第3期中期目標比較表

公立大学法人大阪府立大学《第3期中期目標》	公立大学法人大阪市立大学《第3期中期目標》	公立大学法人大阪《第1期中期目標》(素案)
<p>(中期目標策定の基本的な考え方)</p> <p>大阪府立大学は、平成17年度の公立大学法人化以降、第1期中期目標期間においては府立三大学を統合し、第2期中期目標期間においては府立工業高等専門学校を法人運営化や学域制度改革を行うなど、大規模な組織改革を実行してきた。</p> <p>また、これらの組織改革を通して、全学教育研究組織の整備など教育研究体制の充実強化を図るとともに、教育の質を向上させる制度の導入、外部研究資金の獲得、分野横断的な研究体制の整備などの取組の拡充などにより、教育研究に大きな成果を挙げてきた。</p> <p>さらに、公立大学に求められる地域貢献についても、企業や公的機関との連携による共同研究の推進や教育研究成果の地域への還元など、積極的に取り組んできている。</p> <p>財政面においても、運営費交付金の計画的な削減に対応して、自己収入の確保と経費の抑制に継続的に取り組み、教育研究に必要な運営費の確保に努めてきた。</p> <p>こうした取組を進める中、今後見込まれる少子化やグローバル化に伴う大学間競争の激化に対応していくため、平成27年2月、大阪府立大学と大阪市立大学において、両大学の統合により世界へ展開する高度研究型大学を目指して「新・公立大学」大阪モデル(基本構想)が取りまとめられた。今中期目標期間においては、大阪府及び大阪府立大学は、大学統合による新大学の実現を目指し、大阪市立大学及び大阪市と緊密に協力して、準備を進める。</p> <p>このような経過などを踏まえ、大阪府立大学がこれまでの大学改革の取組の継続と発展を図りながら地域社会及び国際社会で活躍できる高度な人材を育成するとともに、地域・産業界との強い連携のもと大阪のイノベーションを牽引できる高度研究型大学となるよう、また、大阪府立大学工業高等専門学校が創造力ある実践的技術者の養成を行うよう、以下のとおり公立大学法人大阪府立大学の中期目標を定める。</p> <p>(基本的な目標)</p> <p>公立大学法人大阪府立大学は、大学及び高等専門学校を設置し、及び管理することにより、広い分野の総合的な知識と深い専門的学術を教授研究し、豊かな人間性と高い知性を備え、応用力や実践力に富む有為な人材の育成を行うとともに、その研究成果の社会への還元を図り、もって地域社会及び国際社会の発展に寄与することを目的として</p>	<p>前文</p> <p>大阪市立大学は、135年を超える長い歴史と伝統を持つ公立では数少ない総合大学である。高い水準の多様な学術研究を基盤とする研究大学として歩むとともに、理論と実際との有機的な連結を重視する学風や、市井の精神に根ざした自主独立・自由進取の気風を重んじて、社会に有為な人材を育成・輩出してきた。また、地方独立行政法人化以降、理事長兼学長のリーダーシップの強化を図りながら、一体的かつ戦略的な大学運営を目指して様々な改革を行い、大学のプレゼンス向上に取り組んできたところである。</p> <p>グローバル化や少子化など大学を取り巻く社会情勢はめまぐるしく変化し、今後ますます大学間競争の激化が見込まれている。一方、我が国は急激な変化の中、持続可能で活力ある社会を目指した変革を成し遂げなければならない。そのため大学には、社会が直面する課題に応え、社会を変革するエンジンとして高度化・多様化する社会ニーズに応じた人材の育成や、地域の産業活性化、様々な研究を通じた諸問題の解決などの役割を担い、新たな知と価値を創造し、能動的に社会をリードしていくことに大きな期待が寄せられている。</p> <p>こういった状況のもと、大阪市立大学においては、今後とも自由で創造的な教育の推進、国際的に卓越した研究力の強化を図るとともに、高度な専門性とグローバルで幅広い視野のもと、様々な分野において指導的役割を果たし、大阪ひいては日本・世界の未来を牽引していく人材を育成することが求められる。</p> <p>また、優れた人材の育成と真理の探究という大学の普遍的な使命を果たしながら、あわせて都市型総合大学としての利点を最大限に活かすことが求められる。都市を学問創造の場と捉え、都市が抱える諸課題に対して積極的に取り組み、教育及び研究の成果を都市と市民に還元し、もって文化・経済・産業・医療などに関わる諸機能の向上を図り、真に豊かな社会の実現に貢献することが望まれる。特に、これまで、大阪市立大学が都市大阪とともに歩んできた歴史を改めて認識し、本市と大阪市立大学の強力なパートナーシップのもと諸課題の解決に向けて取り組むことにより、都市大阪の成長と発展を図るといった関係を構築し、大阪における「知の拠点」としてその存在意義を一層高められたい。</p> <p>平成27年2月に大阪府立大学とともに取りまとめた「新・公立大学大阪モデル(基本構想)」を踏まえ、大阪から世界を展望する高度研究型の新しい公立大学を実現されることを期待する。</p> <p>以上、この中期目標のもと、これまでの取組を継承・発展させ、組織ガバナンスの維持・向上を図りながら、新たな大阪の公立大学の在り方を探究し、大阪の成長はもとより、広く社会の発展に寄与し、大</p>	<p>前文</p> <p>大阪府及び大阪市は、豊かな人間性と高い知性を備え応用力や実践力に富む優れた人材の育成と真理の探究を使命とし、広い分野の総合的な知識と高度な専門的学術を教授研究するとともに、都市を学問創造の場と捉え、社会の諸問題について英知を結集し、併せて地域・産業界との連携のもと高度な研究を推進し、その成果を社会へ還元することにより、地域社会及び国際社会の発展に寄与するため、大阪府を設立団体とする「公立大学法人大阪府立大学」と大阪市を設立団体とする「公立大学法人大阪市立大学」を新設合併し、「公立大学法人大阪」(以下「法人」という。)を設立した。</p> <p>法人は、この使命を達成するため、大阪府立大学、大阪市立大学、大阪府立大学工業高等専門学校(以下「高専」という。)の三つの高等教育機関を設置し、管理運営する。</p> <p>大阪府立大学と大阪市立大学(以下「両大学」という。)においては、地方独立行政法人化以降、理事長のリーダーシップのもと、一体的かつ戦略的な大学運営を目指して様々な改革を行い、大学のプレゼンス向上に取り組んできたところである。しかしながら、グローバル化や少子化など大学を取り巻く社会情勢はめまぐるしく変化し、今後ますます大学間競争の激化が見込まれている。</p> <p>このような中、両大学においては、平成27年2月、両大学の統合により世界へ展開する高度研究型大学を目指して「新・公立大学」大阪モデル(基本構想)を取りまとめ、両大学が有する人材や資源を最大限に活用することで、教育・研究・地域貢献という基本機能の一層の向上を目指す方向性が示されている。</p> <p>さらに、新大学の設計に向けた大阪府、大阪市、両大学による検討の中では、「都市シンクタンク」と「技術インキュベーション」の2つの新たな機能を充実・強化することにより、大阪の都市問題の解決や産業競争力の強化に貢献することが平成29年8月に打ち出され、これらの方向性に沿って、大阪の発展を牽引できる全国ナンバーワンの公立大学の実現を目指すこととしている。</p> <p>このような経過を踏まえ、このたび両大学を運営する法人の統合を行ったが、両大学の経営面を一元化し、運営体制をしっかりと整え、大学統合に向けたプロセスを着実に進められたい。</p> <p>あわせて、両大学及び高専においては、この中期目標のもと、これまでの取組を継承・発展させ、法人統合によるガバナンスの強化やシナジー効果を発揮し、新しい価値を創造し、両大学・高専の価値を向上させるとともに、人材育成と真理の探求という使命に未来志向で取り組み、大阪の成長はもとより、広く社会の発展に寄与することを望む。</p>

<p>いる。この目的を果たすため、以下のとおり取り組む。</p>	<p>阪が誇る大学となることを望む。</p>	
<p><b>I 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織</b></p> <p><b>1 中期目標の期間</b> 平成29年4月1日から平成35年3月31日までの6年間とする。</p> <p><b>2 教育研究上の基本組織</b> 別表に掲げる学域、学部等及び研究科を置く。</p>	<p><b>第1 中期目標の期間</b> 平成30年4月1日から平成36年3月31日まで</p>	<p><b>第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織</b></p> <p><b>1 中期目標の期間</b> 2019年4月1日から2025年3月31日までの6年間とする。</p> <p><b>2 教育研究上の基本組織</b> 別表に掲げる学域、学部等及び研究科を置く。</p>
<p><b>II 教育研究等の質の向上に関する目標（住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標）</b></p>	<p><b>第2 教育研究等の質の向上に関する目標</b></p>	<p><b>第2 教育研究等の質の向上に関する目標</b></p>
<p><b>1 大阪府立大学の教育研究に関する目標</b></p> <p><b>(1) 教育に関する目標</b></p> <p><b>① 入学者選抜</b> 大阪府立大学の教育目的・教育目標に沿った優秀な学生を受け入れるため、アドミッションポリシーに基づき、学力だけでなく多面的・総合的な評価を行う多様な入学者選抜を実施する。</p> <p><b>② 教育目標及び教育内容</b> 初年次教育の充実をはじめ、教養・基礎教育と専門教育の充実を図り、複雑化・多様化をし、急速に変化する社会において、幅広い教養と高い専門性を備え、地域社会だけでなく世界で活躍できる人材を育成するための教育を展開する。専門職種の国家試験の合格率の向上に引き続き努めるとともに、公的機関や産業界と連携した教育により実践力を兼ね備えた人材の育成を目指す。</p> <p><b>③ グローバル人材の育成</b> グローバル化された社会で活躍できる人材を育成するため、異文化理解やコミュニケーション力などを重視した教育を展開する。学生の国際流動性を高めるため、海外からの留学生の受入れや海外への留学に対する支援制度を充実する。</p> <p><b>④ 教育の質保証</b> ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー及びアドミッションポリシーに基づいた教育の内部質保証のためのPDCAサイクルを構築する。個々の授業科目においても、各教員がディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、教育の改善に向けたPDCAサイクルを機能させるための取組を推進する。また、国際通用性のある教育カリキュラムを展開する教育体制の整備に取り組む。</p> <p><b>⑤ 学生支援体制等の充実</b> 学生の資質・能力を育むために必要な支援制度の充実や各種相談体制の整備、就職に関する支援、学習環境の整備等を推進する。障がい者の学ぶ機会をより一層拡充するため、支援の取組を進める。また、アジアをはじめとする海外からの留学生を積極的に受け入れるための環境づくりを進める。</p>		<p><b>1 大阪府立大学に関する目標</b></p> <p><b>(1) 教育に関する目標</b></p> <p><b>ア 人材育成方針及び教育内容</b> 初年次教育の充実をはじめ、教養・基礎教育と専門教育の充実を図り、複雑化・多様化をし、急速に変化する社会において、幅広い教養と高い専門性を備え、地域社会だけでなく国際社会で活躍できる人材を育成するための教育を展開する。専門職種の国家試験の合格率の向上に引き続き努めるとともに、公的機関や産業界と連携した教育により実践力を兼ね備えた人材の育成を目指す。</p> <p><b>イ グローバル人材の育成</b> グローバル化された社会で活躍できる人材を育成するため、異文化理解やコミュニケーション力などを重視した教育を展開する。学生の国際流動性を高めるため、海外からの留学生の受入れや海外への留学に対する支援制度を充実する。</p> <p><b>ウ 教育の質保証等</b> ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー及びアドミッションポリシーに基づいた教育の内部質保証のためのPDCAサイクルを構築する。個々の授業科目においても、各教員がディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、教育の改善に向けたPDCAサイクルを機能させるための取組を推進する。また、国際通用性の高い教育カリキュラムを展開する教育体制の整備に取り組む。</p> <p><b>エ 学生支援の充実等</b> 学生の資質・能力を育むために必要な支援制度の充実や各種相談体制の整備、就職や健康管理に関する支援、学習環境の整備等を推進する。障がい者の学ぶ機会をより一層拡充するため、支援の取組を進める。また、アジアをはじめとする海外からの留学生を積極的に受け入れるための環境づくりを進める。</p> <p><b>オ 入学者選抜</b> 大阪府立大学の教育目的・教育目標に沿った優秀な学生を受け入れるため、高大接続や入試に関する国の改革の動向も見据えながらアドミッションポリシーに基づき、学力だけでなく多面的・総合的な評価を行う多様な入学者選抜を実施する。</p> <p><b>(2) 研究に関する目標</b></p> <p><b>ア 研究水準の向上</b> 「高度研究型大学」として、現代社会における様々な課題の解決やイノベーションの創出に資するため、大阪府立大学の持つ強みを活用しつつ先端的な研究や異分野融合による研究を推進するとともに、社会的ニーズに対応した研究を推進する。</p> <p><b>イ 研究体制の整備等</b></p>

## (2) 研究に関する目標

### ①研究水準の向上

「高度研究型大学」として、現代社会における様々な課題の解決やイノベーションの創出に資するため、大阪府立大学の持つ強みを活用しつつ先端的な研究や異分野融合による研究を推進するとともに、社会的ニーズに対応した研究を推進する。

### ②研究体制の整備等

個々の教員の自発的な研究を推進するとともに、幅広い社会的な課題に対応するため、分野横断的な研究体制で取り組む。他大学、研究機関、企業、地方自治体などと連携し、オープンイノベーションを推進するとともに、研究成果を広く発信し、連携を進展させる。また、研究の推進に当たっては、外部資金を積極的に活用する。

## (3) 地域貢献等に関する目標

### ①研究成果の発信と還元による産業活性化への貢献

大阪府立大学の研究成果を広く発信・社会還元をし、地域社会・世界の発展に貢献する。実学に強みがある大阪府立大学の特徴を活かし、特に産学連携の取組の強化を通じて、大阪の産業活性化に貢献する取組を推進する。

### ②生涯教育の取組の強化

府民・地域の生涯学習ニーズに対応するため、適正な受益者負担のもと大阪府立大学の知的資源を活用し、多様で質の高い生涯教育を受ける機会を提供する。また、交通の利便性を活かした都市部サテライトでの社会人向け公開講座の実施など、社会人の学習の場の提供に努める。

### ③地方自治体など諸機関との連携の強化

大阪府、府内市町村等との連携を強化し、具体的な政策課題等に対応した共同研究・共同事業を実施するなど、「大阪のシンクタンク」としての役割を果たす。また、大阪府の関係機関との人的・技術的な連携協力を進めるとともに、公的研究機関や国・諸外国の関係機関などと連携することにより、地域社会の課題の解決に貢献する。

## (4) グローバル化に関する目標

大阪府立大学が「国際的な高度研究型大学」としてより一層発展するために、大阪にある公立大学としての優位性を活かしたグローバルな教育・研究・地域貢献活動の展開を図る。特に、アセアン地域諸国などのアジアの大学や大阪府・府内市町村とのグローバル化施策と連携しつつ取組を強化・推進する。

個々の教員の自発的な研究を推進するとともに、幅広い社会的な課題に対応するため、分野横断的な研究体制で取り組む。他大学、研究機関、企業、地方自治体などと連携し、オープンイノベーションを推進するとともに、研究成果を広く発信し、連携を進展させる。また、研究の推進に当たっては、外部資金を積極的に活用する。

## (3) 社会貢献等に関する目標

### ア 研究成果の発信と還元による産業活性化への貢献

大阪府立大学の研究成果を広く発信・社会還元をし、地域社会・国際社会の発展に貢献する。実学に強みがある大阪府立大学の特徴を活かし、特に産学連携の取組の強化を通じて、大阪の産業活性化に貢献する取組を推進する。

### イ 生涯教育の取組の強化

府民・地域の生涯学習ニーズに対応するため、適正な受益者負担のもと大阪府立大学の知的資源を活用し、多様で質の高い生涯教育を受ける機会を提供する。また、交通の利便性を活かした都市部サテライトでの社会人向け公開講座の実施など、社会人の学習の場の提供に努める。

### ウ 地方自治体など諸機関との連携の強化

大阪府、府内市町村等との連携を強化し、具体的な政策課題等に対応した共同研究・共同事業を実施するなど、大阪のシンクタンクとしての役割を果たす。また、大阪府の関係機関との人的・技術的な連携協力を進めるとともに、公的研究機関や国・諸外国の関係機関などと連携することにより、地域社会の課題の解決に貢献する。

## (4) グローバル化に関する目標

大阪府立大学が国際的な高度研究型大学としてより一層発展するために、大阪にある公立大学としての優位性を活かしたグローバルな教育・研究・地域貢献活動の展開を図る。特に、アセアン地域諸国などのアジアの大学や大阪府・府内市町村との国際化施策と連携しつつ取組を強化・推進する。

## 1 教育に関する目標

### (1) 人材育成方針

さまざまな分野において指導的役割を果たせる、広い視野と高い専門性を兼ね備えた、地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材を育成する。

### (2) 教育の内容

#### ア 学士課程における教育の充実

総合大学の強みを活かした幅広い学習を推進し、教養教育から専門教育に至るまでの効果的な学修を促進する。

#### イ 大学院課程における教育の充実

大学院教育の充実を図り、幅広い知識と高度な専門性を兼ね備えた研究者や職業人を養成する。

#### ウ 社会人教育の強化

社会ニーズに対応した高度な専門性を有する社会人を育成する。

#### エ 中等教育との連携

中等教育機関と連携し、学修の動機づけや能動的学修等に協力することにより、大学教育につながる一貫した人材育成を支援する。

### (3) グローバル人材の育成

基礎的な思考力や主体的な行動力等、社会で活躍するために必要な基礎的能力に加え、外国語でのコミュニケーション能力、異文化理解・活用力を備えた国際社会で活躍できる人材を育成する。

### (4) 教育の質保証

教育の質の改善・向上を図るための体制を強化するとともに、学習成果の多面的な評価に基づいた教育の自己点検評価を継続的に実施し、教育の充実に取り組む。

### (5) 教育の推進体制

分野横断型の教育に対応しうる柔軟な教育体制を構築するとともに、各組織の機能充実を図る。

### (6) 学生受入方針

高大接続や入試に関する国の改革の動向も見据えながら、優秀な学生を受け入れるための入学者選抜を実施する。

### (7) 学生支援の充実

学生のニーズを把握し、学習環境、キャンパスライフ、地域貢献活動、就職活動、メンタルヘルス等に関する取組を更に充実させる。また障がいのある学生への支援をさらに進める取組を行う。

## 2 研究に関する目標

## 2 大阪市立大学に関する目標

### (1) 教育に関する目標

#### ア 人材育成方針及び教育内容

##### (ア) 人材育成方針

さまざまな分野において指導的役割を果たせる、広い視野と高い専門性を兼ね備えた、地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材を育成する。

##### (イ) 教育内容

###### ・ 学士課程における教育の充実

総合大学の強みを活かした幅広い学習を推進し、教養教育から専門教育に至るまでの効果的な学修を促進する。

###### ・ 大学院課程における教育の充実

大学院教育の充実を図り、幅広い知識と高度な専門性を兼ね備えた研究者や職業人を養成する。

###### ・ 社会人教育の強化

社会ニーズに対応した高度な専門性を有する社会人を育成する。

###### ・ 中等教育との連携

中等教育機関と連携し、学修の動機づけや能動的学修等に協力することにより、大学教育につながる一貫した人材育成を支援する。

#### イ グローバル人材の育成

基礎的な思考力や主体的な行動力等、社会で活躍するために必要な基礎的能力に加え、外国語でのコミュニケーション能力、異文化理解・活用力を備えた国際社会で活躍できる人材を育成する。

#### ウ 教育の質保証等

教育の質の改善・向上を図るための体制を強化するとともに、学習成果の多面的な評価に基づいた教育の自己点検・評価を継続的に実施し、教育の充実に取り組む。また、分野横断型の教育に対応しうる柔軟な教育体制を構築するとともに、各組織の機能充実を図る。

#### エ 学生支援の充実等

学生のニーズを把握し、学習環境、キャンパスライフ、地域貢献活動、就職活動、健康管理、メンタルヘルス等に関する取組を更に充実させる。また障がいのある学生への支援をさらに進める取組を行う。

#### オ 入学者選抜

高大接続や入試に関する国の改革の動向も見据えながら、優秀な学生を受け入れるための入学者選抜を実施する。

### (2) 研究に関する目標

#### ア 研究水準の向上

高度研究型の総合大学として国際的に卓越した研究力の強化を目指し、先端的研究・異分野融合研究を推進するとともに、都市にある総合大学としての強みを活かし、これまで取り組んできた都市科学分野の研究をより一層推進する。

#### イ 研究体制の整備等

研究力の分析・評価により、戦略的・効果的に研究活動を支援するとともに、研究活動に関する公表の促進、他の大学や研究機関等との連携、分野横断的な研究体制の構築等に

	<p><b>(1) 研究水準の向上</b></p> <p>高度研究型の総合大学として国際的に卓越した研究力の強化を目指し、先端的研究・異分野融合研究を推進するとともに、都市にある総合大学としての強みを活かし、これまで取り組んできた都市科学分野の研究をより一層推進する。</p> <p><b>(2) 研究体制等の整備</b></p> <p>研究力の分析・評価により、戦略的・効果的に研究活動を支援するとともに、研究活動に関する公表の促進、他の大学や研究機関等との連携、分野横断的な研究体制の構築等により研究力の向上を図る。また若手研究者、女性研究者への支援を充実させる。</p> <p><b>3 社会連携に関する目標</b></p> <p><b>(1) 地域貢献</b></p> <p>ア シンクタンク機能の充実</p> <p>都市の成長と地域の発展に資するため、大学の知的資源を活用するとともに、他の大学や研究機関等との連携を強化し、その研究成果を社会に還元する。</p> <p>イ 大阪市との基本協定に基づく取組</p> <p>大阪のシンクタンク機能を果たすため、大阪市との連携をより一層促進して、複雑化・高度化する大阪の都市課題を的確に捉え、その解決に取り組む。</p> <p>ウ 地域における人材の育成</p> <p>地域に開かれた大学として、生涯にわたる多様な学びを提供することにより、市民に対し広く大学の知に触れる機会を提供し、地域における人材育成を支援する。</p> <p><b>(2) 産学官連携</b></p> <p>ア 先端的研究分野での連携</p> <p>先端的研究をはじめとする様々な分野で、関連産業との共同研究等を促進し、大学の研究力の向上を図るとともにイノベーションを創出し、産業の発展に寄与する。</p> <p>イ 地域産業との連携</p> <p>地域経済の成長のため、研究開発や人材育成等において、中小企業をはじめとする地域産業との連携を強化する。</p> <p><b>(3) 社会連携態勢の整備</b></p> <p>大学に求められる社会ニーズの把握に努めるとともに、大学の知的資源に関する情報の集積・発信を行い、社会ニーズに積極的に対応する態勢を強化する。</p> <p><b>4 グローバル化に関する目標</b></p> <p><b>(1) 国際力の強化</b></p> <p>国際力の強化のため、海外の教育・研究機関等との教育・研究における交流を促進する。また留学生の受入を拡大させるなど学内のグローバル化を推進する。</p>	<p>より研究力の向上を図る。また若手研究者、女性研究者への支援を充実させる。</p> <p><b>(3) 社会貢献等に関する目標</b></p> <p><b>ア 地域貢献</b></p> <p>(ア) シンクタンク機能の充実</p> <p>都市の成長と地域の発展に資するため、大学の知的資源を活用するとともに、他の大学や研究機関等との連携を強化し、その研究成果を社会に還元する。</p> <p>(イ) 大阪市との基本協定に基づく取組</p> <p>大阪のシンクタンク機能を果たすため、大阪市との連携をより一層促進して、複雑化・高度化する大阪の都市課題を的確に捉え、その解決に取り組む。</p> <p>(ウ) 地域における人材の育成</p> <p>地域に開かれた大学として、生涯にわたる多様な学びを提供することにより、市民に対し広く大学の知に触れる機会を提供し、地域における人材育成を支援する。</p> <p>(エ) 地域貢献態勢の整備</p> <p>大学に求められる社会ニーズの把握に努めるとともに、大学の知的資源に関する情報の集積・発信を行い、社会ニーズに積極的に対応する態勢を強化する。</p> <p><b>イ 産業活性化への貢献</b></p> <p>(ア) 先端的研究分野での連携・態勢整備</p> <p>先端的研究をはじめとする様々な分野で、関連産業との共同研究等を促進し、大学の研究力の向上を図るとともにイノベーションを創出し、産業の発展に寄与する。</p> <p>(イ) 地域産業との連携</p> <p>地域経済の成長のため、研究開発や人材育成等において、中小企業をはじめとする地域産業との連携を強化する。</p> <p><b>(4) グローバル化に関する目標</b></p> <p>国際力の強化のため、海外の教育・研究機関等との教育・研究における交流を促進する。また留学生の受入を拡大させるなど学内のグローバル化を推進する。</p> <p><b>(5) 附属病院に関する目標</b></p> <p><b>ア 高度・先進医療の提供</b></p> <p>地域の拠点病院として、患者本位の安全で質の高い医療と先進医療を提供し、市民の健康増進と地域医療の向上に寄与する。</p> <p><b>イ 高度専門医療人の育成</b></p> <p>医学部附属病院として、人間性豊かで時代の要請に応える高度専門的な医療人材を育成する。</p> <p><b>ウ 地域医療及び市民への貢献</b></p> <p>地域医療機関（病院、診療所等）との連携及び協力をさらに推進するとともに、市民の健康づくり活動に寄与する等、医療を通じた地域貢献に積極的に取り組む。</p> <p><b>エ 安定的な病院の運営</b></p> <p>経営の効率化をさらに推進するとともに、経営基盤を強化し、安定的な病院運営を図る。</p>
--	--	--

## 2 大阪府立大学工業高等専門学校に関する目標

### (1) 教育に関する目標

#### ① 入学者選抜

大阪府立大学工業高等専門学校の目的及び使命に沿った学生を確保するため、アドミッションポリシーを踏まえた効果的な広報活動と多様な入試を実施する。

#### ② 教育目標及び教育内容

社会のニーズに即した創造力と高い倫理観のある、ものづくりの場でのリーダー的資質を備えた実践的技術者を養成するため、学生が主体的に知識と技術を深めることができる教育を推進する。

#### ③ グローバル人材の育成

グローバル化の進む社会のニーズに即した技術者を育成するため、海外の大学や企業と連携した海外インターンシップ派遣を積極的に推進するなど、グローバルな教育研究活動の展開を図る。また、大阪府立大学と連携した多文化交流方法の検討を進める。

#### ④ 教育の質保証

ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー及びアドミッションポリシーに基づく継続的な検証・見直しを実施し、教育の内部質保証のためのPDCAサイクルの拡充や社会のニーズに沿ったカリキュラムを展開する教育体制の整備に取り組む。

#### ⑤ 学生支援体制の充実等

## 5 附属病院に関する目標

### (1) 高度・先進医療の提供

地域の拠点病院として、患者本位の安全で質の高い医療と先進医療を提供し、市民の健康増進と地域医療の向上に寄与する。

### (2) 高度専門医療人の育成

医学部附属病院として、人間性豊かで時代の要請に応える高度専門的な医療人材を育成する。

### (3) 地域医療及び市民への貢献

地域医療機関（病院、診療所等）との連携及び協力をさらに推進するとともに、市民の健康づくり活動に寄与する等、医療を通じた地域貢献に積極的に取り組む。

### (4) 安定的な病院の運営

経営の効率化をさらに推進するとともに、経営基盤を強化し、安定的な病院運営を図る。

## 3 大阪府立大学工業高等専門学校に関する目標

### (1) 教育に関する目標

#### ア 人材育成方針及び教育内容

社会のニーズに即した創造力と高い倫理観のある、ものづくりの場でのリーダー的資質を備えた実践的技術者を養成するため、学生が主体的に知識と技術を深めることができる教育を推進する。

#### イ グローバル人材の育成

グローバル化の進む社会のニーズに即した技術者を育成するため、海外の大学や企業と連携した海外インターンシップ派遣を積極的に推進するなど、グローバルな教育研究活動の展開を図る。また、両大学と連携した多文化交流方法の検討を進める。

#### ウ 教育の質保証等

ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー及びアドミッションポリシーに基づく継続的な検証・見直しを実施し、教育の内部質保証のためのPDCAサイクルの拡充や社会のニーズに沿ったカリキュラムを展開する教育体制の整備に取り組む。

#### エ 学生支援の充実等

学生の資質・能力を育むため、学生の修学機会を確保するとともに、必要な支援体制の充実を進める。

また、学生及び地域社会のニーズに合わせて、工学に関連する幅広い分野への就職を推進するとともに、本科から大学への編入学や専攻科から大学院への進学など多様な進路に円滑に接続できるようにする。

#### オ 入学者選抜

大阪府立大学工業高等専門学校の目的及び使命に沿った学生を確保するため、アドミッションポリシーを踏まえた効果的な広報活動と多様な入試を実施する。

### (2) 研究に関する目標

外部との共同研究の拡大を図るとともに、若手教員を重点に置いて 研究業績を高め、大

<p>学生の資質・能力を育むため、学生の修学機会を確保するとともに、必要な支援体制の充実を進める。</p> <p>また、学生及び地域社会のニーズに合わせて、工学に関連する幅広い分野への就職を推進するとともに、本科から大学への編入学や専攻科から大学院への進学など多様な進路に円滑に接続できるようにする。</p> <p>(2) 研究に関する目標</p> <p>大阪府立大学との連携を深めながら、外部との共同研究の拡大を図るとともに、若手教員を重点に置いて研究業績を高め、大阪を中心とするものづくり産業の発展に資する研究を推進する。</p> <p>(3) 地域貢献等に関する目標</p> <p>①研究成果の発信と社会への還元</p> <p>研究成果を効果的かつ積極的に社会に発信し還元することにより、産業や地域社会の発展に貢献する。</p> <p>②公開講座や出前授業の推進</p> <p>技術科学教育力を活かし、小・中学生など次世代の人材育成に資する取組を推進するとともに社会人対象のリカレント教育を検討する。</p>		<p>阪を中心とするものづくり産業の発展に資する研究を推進する。</p> <p>(3) <b>社会貢献等に関する目標</b></p> <p><b>ア 研究成果の発信と社会への還元</b></p> <p>研究成果を効果的かつ積極的に社会に発信し還元することにより、産業や地域社会の発展に貢献する。</p> <p><b>イ 公開講座や出前授業の推進</b></p> <p>技術科学教育力を活かし、小・中学生など次世代の人材育成に資する取組を推進するとともに社会人対象のリカレント教育を検討する。</p>
<p><b>Ⅲ業務運営の改善及び効率化に関する目標</b></p> <p><b>1 運営体制の改善に関する目標</b></p> <p>理事長・学長のトップマネジメントを支える理事及び副学長の役割及び権限を明確化し、時代の変化に対応した、より機動的な運営体制を構築する。また、大阪市立大学との統合による新大学の実現を見据えて、法人業務、大学業務及び高等専門学校業務に対応した組織への見直しを図る。</p> <p><b>2 組織の活性化に関する目標</b></p> <p>教職員組織の活性化を図るため、多様な優れた人材の確保・活用・育成・登用を行うとともに教職員に対する評価制度を適正に運用する。また、機動的・弾力的な組織運営に努めるとともに、柔軟な人事制度を創設し運用する。教職員の能力と専門性の向上を目的とした組織的・体系的なファカルティ・ディベロップメント及びスタッフ・ディベロップメントを実施する。</p> <p><b>3 施設設備の有効利用等に関する目標</b></p> <p>施設設備の有効利用や機器の共同利用の方策を検討し、効率的・効果的な運用を図る。</p>	<p><b>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標</b></p> <p><b>1 運営体制</b></p> <p>戦略的・一体的な大学運営を引き続き推進するため、理事長兼学長がリーダーシップを発揮できる運営体制の一層の充実を図る。</p> <p><b>2 組織力の向上</b></p> <p>多様な人材を確保するための制度を構築するとともに、教職員の能力とモチベーションを向上させる取組を行う。また、教職員が共に経営参画する意識を醸成するための取組を行う。</p>	<p><b>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標</b></p> <p><b>1 運営体制</b></p> <p>理事長は法人経営に対してマネジメント力を発揮し、両学長は教育研究等の推進に対しリーダーシップを発揮するよう、役員及び副学長等の役割及び権限を明確にし、時代の変化に対応した、より機動的な運営体制を構築する。</p> <p>さらに、適切な役割分担のもと、法人本部事務組織が法人運営を担い、大学本部事務組織が大学の運営や教育研究等を担い、またICT化やアウトソーシングなどにより業務の簡素化・効率化を推進する。</p> <p><b>2 組織力の向上</b></p> <p>教職員組織の活性化を図るため、多様な優れた人材の確保・活用・育成・登用を行うとともに教職員に対する評価制度を適正に運用する。また、機動的・弾力的な組織運営に努めるとともに、柔軟な人事制度を構築する。</p> <p>さらに、職員のスキルと経験、ポテンシャルを最大限活用するという観点から、法人及び両大学等に適材適所に職員を配置し、事務組織の活性化と全体の事務力のアップを図り、教育研究等のサポート体制等を強化する。</p> <p><b>3 施設設備の有効利用等</b></p> <p>施設設備の有効利用や機器の共同利用の方策を検討し、効率的・効果的な運用を図る。</p>
<p><b>Ⅳ財務内容の改善に関する目標</b></p> <p><b>1 自己収入の確保に関する目標</b></p> <p>外部資金獲得や寄附金確保に向けた組織的な取組の強化や、適正</p>	<p><b>第4 財務内容の改善に関する目標</b></p> <p><b>1 外部資金の確保</b></p> <p>授業料等の自己収入を安定的に確保するとともに、寄附金の獲</p>	<p><b>第4 財務内容の改善に関する目標</b></p> <p><b>1 自己収入等の確保</b></p> <p>授業料等の収入を安定的に確保するとともに、産学官連携活動等の充実等による外部資金獲得や寄</p>

<p>な受益者負担を検討するなど、自己収入の確保に努め、経営基盤の強化を図る。</p> <p><b>2 経費の抑制に関する目標</b></p> <p>各種経営指標分析を用いた経営効率化の取組や全学的な業務改善の取組を推進するなど、予算執行の適正化を推進し、運営経費の抑制を図る。</p> <p><b>3 運営費交付金について</b></p> <p>運営費交付金については、現状の水準は維持しながら、自己収入の確保と経費の抑制の取組を継続することなどにより、引き続き適正化に努め、教育研究に必要となる運営費を確保する。</p>	<p>得、産学官連携活動等の充実等、外部資金の一層の確保に努める。</p> <p><b>2 効率的な大学運営の推進</b></p> <p>常に業務内容の点検を行い、業務コストの適正化を図るとともに、資産を効果的に活用し、効率的な大学運営を推進する。</p>	<p>附金確保に向けた組織的な取組など、自己収入等の確保に努める。</p> <p><b>2 効率的な大学運営の推進</b></p> <p>教育研究等の充実に向け、常に業務内容の点検を行い、業務コストの適正化や運営経費の抑制を図るとともに、資産を効果的に活用し、効率的な大学運営を推進する。</p>
<p><b>V 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標</b></p> <p><b>1 評価に関する目標</b></p> <p>教育研究活動及び業務運営について、自己点検・評価の体制を整備し、定期的に点検・評価を行い、その結果を改善に活かす。</p> <p><b>2 情報の提供と戦略的広報に関する目標</b></p> <p>自らの諸活動について広く情報を公開し、社会への説明責任を果たすとともに、教育研究の優れた成果・実績などについて戦略的に広報活動を推進し、メディアを通じたPRや各種大学ランキングへの反映など、より一層のブランド力向上を図る。</p>	<p><b>第5 自己点検及び評価並びに情報公開等に関する目標</b></p> <p><b>1 自己点検及び評価の実施</b></p> <p>教育研究活動や業務運営全般について、自己点検及び評価を継続して実施し、その結果を改善に活かす。</p> <p><b>2 情報の提供と戦略的広報の展開</b></p> <p>大学の各種情報を適切に公表し、社会への説明責任を果たすとともに、大学のプレゼンスを高めるため戦略的な広報を展開する。</p>	<p><b>第5 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標</b></p> <p><b>1 自己点検及び評価の実施</b></p> <p>教育研究活動や業務運営全般について、自己点検・評価の体制を整備し、点検及び評価を継続して行い、その結果を改善に活かす。</p> <p><b>2 情報の提供と戦略的広報の展開</b></p> <p>法人及び大学・高等専門学校の種類情報を適切に公表し、社会への説明責任を果たすとともに、プレゼンスを高めるため戦略的な広報を展開する。</p>
<p><b>VI その他業務運営に関する重要目標</b></p> <p><b>1 施設設備の整備に関する目標</b></p> <p>施設設備について、施設整備プラン等に基づき、耐震化や老朽化対策のための改修及び維持保全・更新を計画的に行い、教育研究環境の整備を推進する。</p> <p><b>2 安全管理等に関する目標</b></p> <p>学生及び教職員が安全かつ安心して活動できるよう、教育研究環境を整えるとともに、学内の安全管理体制を整備する。また、安全教育や環境保全に関する研修の実施などにより、教職員及び学生に対する意識の向上を図る。</p> <p><b>3 コンプライアンス・リスクマネジメントの強化に関する目標</b></p> <p>研究公正の推進や研究費不正使用の防止などの不正事案の未然防止を図るため、内部統制の体制を整備し、コンプライアンスやリスクマネジメントを徹底するための取組を強化する。</p> <p><b>4 人権に関する目標</b></p> <p>不当にも人権が侵害されて良好な教育研究・職場環境が損なわれることがないよう、人権尊重の視点に立った全学的な取組の充実を図る。</p>	<p><b>第6 その他業務運営に関する重要目標</b></p> <p><b>1 コンプライアンス等の徹底</b></p> <p>すべての大学活動において、人権尊重の視点に立った業務遂行の徹底を図るとともに、業務の適正を確保するための体制を整備し、社会的責任を果たす。</p> <p><b>2 施設設備の整備等に関する目標</b></p> <p>耐震化や老朽化対策など安全快適な教育研究環境の整備のため、施設整備プラン等に基づき、改修及び維持保全・更新等を計画的に行う。</p> <p><b>3 リスクマネジメントの徹底</b></p> <p>情報セキュリティ対策や国際交流における安全対策をはじめ大学の諸活動における安全性の向上を図り、環境の変化に即したリスクマネジメント対応を行う。</p> <p><b>4 支援組織の構築</b></p> <p>卒業生組織や保護者等関係者とのさらなる連携を強め、大学支援のネットワークを構築する。</p>	<p><b>第6 その他業務運営に関する重要目標</b></p> <p><b>1 施設設備の整備等</b></p> <p>耐震化や老朽化対策など安全快適な教育研究環境の整備のため、施設整備プラン等に基づき、改修及び維持保全・更新等を計画的に行う。</p> <p><b>2 安全管理等</b></p> <p>学生及び教職員が安全かつ安心して活動できるよう、教育研究環境を整えるとともに、学内の安全管理体制を整備する。また、安全教育や環境保全に関する研修の実施などにより、教職員及び学生に対する意識の向上を図る。</p> <p><b>3 人権の尊重</b></p> <p>すべての大学活動において、人権尊重の視点に立った業務遂行の徹底を図る。</p> <p><b>4 コンプライアンスの徹底</b></p> <p>研究公正の推進や研究費不正使用の防止などの不正事案の未然防止を図るため、業務の適正を確保するための体制を整備し、コンプライアンスを徹底するための取組を強化する。</p> <p><b>5 リスクマネジメントの徹底</b></p> <p>情報セキュリティ対策や国際交流における安全対策をはじめ大学の諸活動における安全性の向上を図り、環境の変化に即したリスクマネジメント対応を行う。</p> <p><b>6 支援組織の構築</b></p> <p>卒業生組織や保護者等関係者とのさらなる連携を強め、両大学及び高専への支援のネットワークを構築する。</p>
<p><b>VII 大阪市立大学との統合等に関する目標</b></p> <p><b>1 大阪市立大学との統合による新大学実現へ向けた取組の推進</b></p> <p>世界的な大学間競争を勝ち抜き、より強い大阪を実現するための</p>	<p><b>第7 大阪府立大学との統合等に関する目標</b></p> <p><b>1 大阪府立大学との統合による新大学実現へ向けた取組の推進</b></p> <p>世界的な大学間競争を勝ち抜き、より強い大阪を実現するための</p>	<p><b>第7 大阪府立大学と大阪市立大学の統合等に関する目標</b></p> <p><b>1 大阪府立大学と大阪市立大学の統合による新大学実現へ向けた取組の推進</b></p> <p>世界的な大学間競争を勝ち抜き、より強い大阪を実現するための知的インフラ拠点として存在感を高</p>



知的インフラ拠点として存在感を高めるため、「新・公立大学」大阪モデル（基本構想）を踏まえ、世界に展開する高度な研究型の公立大学を目指し、大阪府、大阪市及び公立大学法人大阪市立大学と緊密に連携を図りながら、法人統合から大学統合に至る準備が円滑に進むよう取り組み、今中期目標期間中を目途に新大学の実現を図る。

**2 大阪市立大学との連携の推進**

大阪市立大学との連携を強化し、法人・大学業務や教育研究の共同実施など、連携・共同化が可能なものについて、先行して実施する。

知的インフラ拠点として存在感を高めるため、「新・公立大学」大阪モデル（基本構想）を踏まえ、世界に展開する高度な研究型の公立大学を目指し、大阪府、大阪市及び公立大学法人大阪府立大学と緊密に連携を図りながら、今中期目標期間中を目途とする大阪府立大学との統合による新大学の実現に向け、法人統合から大学統合に至る準備を進める。

**2 大阪府立大学との連携の推進**

大阪府立大学との連携を強化し、法人・大学業務や教育研究の共同実施など、連携・共同化が可能なものについて、先行して実施する。

めるため、「新・公立大学」大阪モデル（基本構想）を踏まえ、世界に展開する高度な研究型の公立大学を目指し、大阪府、大阪市及び両大学間で緊密に連携を図りながら、2022年度を目途とする両大学の統合による新大学の実現に向け準備を進める。

**2 大阪府立大学と大阪市立大学の連携の推進**

法人統合により、両大学の経営面の一元化と教学面の連携をさらに強化し、大学業務や教育研究等の共同実施などを順次実施する。また、「都市シンクタンク」機能や「技術インキュベーション」機能の窓口を一本化し公立大学としての機能充実・強化に取り組む。

**別表（学域、学部等、研究科）**

大学名等	大阪府立大学		大阪府立大学 工業高等専門学校
学域、学部等	現代システム科学域	工学部	(本科)
	工学域	生命環境科学部	総合工学システム学
学域、学部等	生命環境科学域	理学部	科
	地域保健学域	経済学部	(専攻科)
研究科	工学研究科	人間社会学部	総合工学システム専
	生命環境科学研究科	看護学部	攻
研究科	理学系研究科	総合リハビリテーション学部	
	経済学研究科		
研究科	人間社会システム科学研究科		
	看護学研究科		
研究科	総合リハビリテーション学研究科		

備考 「学域、学部等」の中欄に掲げる学部については、平成24年度入学者から学生募集を停止している。

**別表（学域、学部等、研究科）**

大学名等	大阪府立大学		大阪市立大学	大阪府立大学 工業高等専門学校
学域、学部等	現代システム科学域	工学部	商学部	(本科)
	工学域	生命環境科学部	経済学部	総合工学システム学
学域、学部等	生命環境科学域	理学部	法学部	科
	地域保健学域	経済学部	文学部	(専攻科)
研究科	工学研究科	人間社会学部	理学部	総合工学システム専
	生命環境科学研究科	看護学部	工学部	攻
研究科	理学系研究科	総合リハビリテーション学部	医学部	
	経済学研究科		生活科学部	
研究科	人間社会システム科学研究科			
	看護学研究科			
研究科	総合リハビリテーション学研究科			

備考 「学域、学部等」の中欄に掲げる学部については、平成24年度入学者から学生募集を停止している。

**別表（学域、学部等、研究科）**

大学名等	大阪府立大学		大阪市立大学	大阪府立大学 工業高等専門学校
学域、学部等	現代システム科学域	工学部	商学部	(本科)
	工学域	生命環境科学部	経済学部	総合工学システム学
学域、学部等	生命環境科学域	理学部	法学部	科
	地域保健学域	経済学部	文学部	(専攻科)
研究科	工学研究科	人間社会学部	理学部	総合工学システム専
	生命環境科学研究科	看護学部	工学部	攻
研究科	理学系研究科	総合リハビリテーション学部	医学部	
	経済学研究科		生活科学部	
研究科	人間社会システム科学研究科			
	看護学研究科			
研究科	総合リハビリテーション学研究科			

備考 大阪府立大学の「学域、学部等」の中欄に掲げる学部については、平成24年度入学者から学生募集を停止している。

大阪市立大学創造都市研究科の修士課程については、平成30年度入学者から学生募集を停止している。